

すべての女性が輝く社会づくり

トイレが変われば、 暮らしが変わる。

加藤 篤(NPO法人日本トイレ研究所)

トイレに、愛を。

日本トイレ研究所は、
「トイレ」をとおして社会をより良い方向へ変えていくことを
コンセプトに活動しているNPOです。
トイレから、環境、文化、教育、健康について考え、
すべての人が安心してトイレを利用でき、
ともに暮らせる社会づくりをめざします。



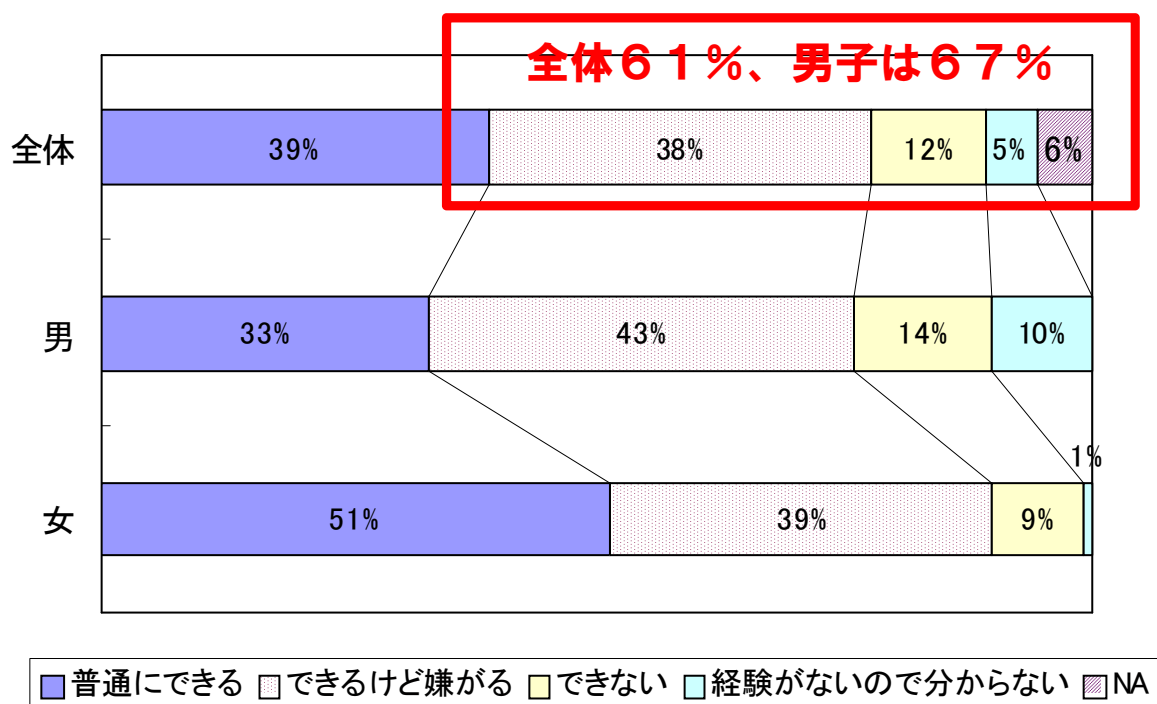
Labo.
日本トイレ研究所

Activity 1

「学校トイレ」への挑戦

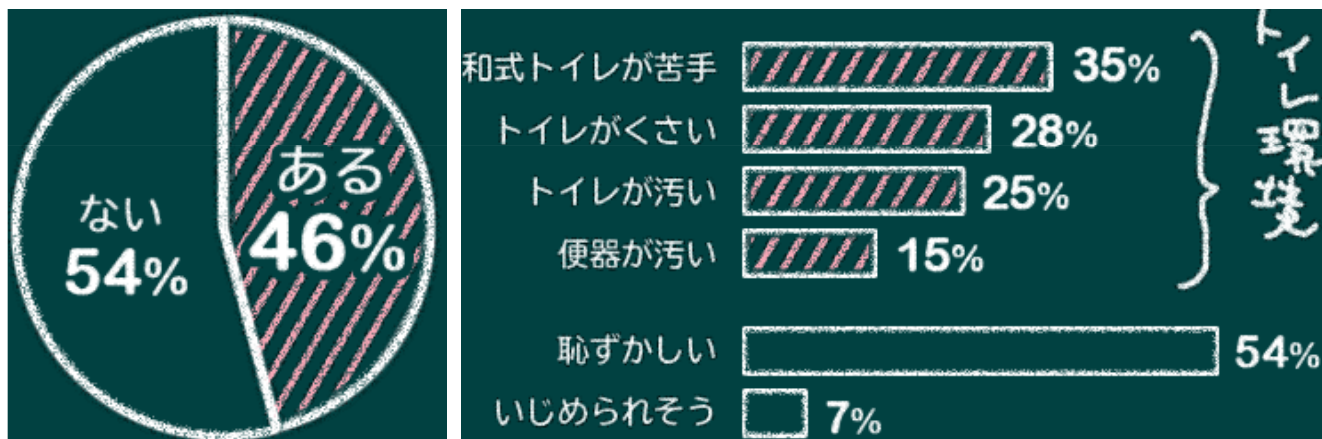
© 2015 NPO Japan Toilet Labo

和式トイレですることはできますか？



小学校でうんちを我慢したことがある？

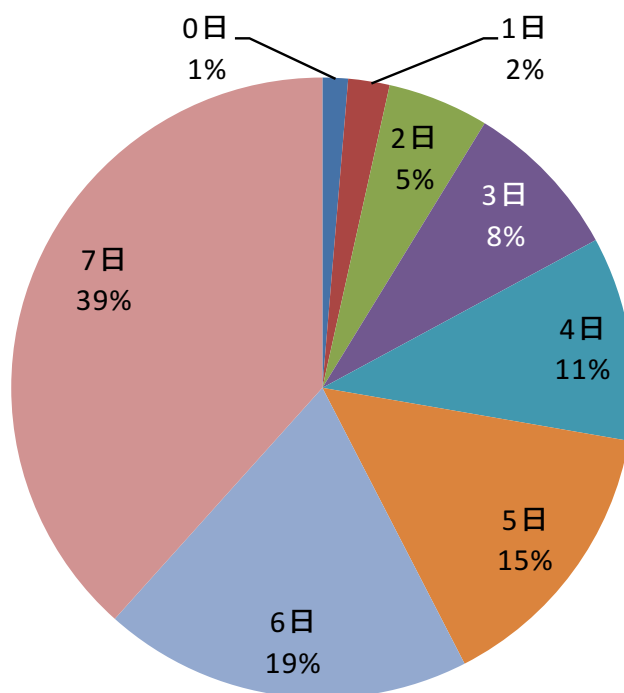
その理由は？



小学校に洋式トイレプレゼント（小林製薬株式会社）
<http://www.kobayashi.co.jp/toilet-present/condition.html>

5

© 2015 NPO Japan Toilet Labo



3日以上連続でうんちが出ない 13.7%

調査：日本トイレ研究所、王子ネピア

© 2015 NPO Japan Toilet Labo



意識を変える「うんち教室」

王子ネピア

保護者のみなさんへ (加藤 篤 NPO法人日本トイレ研究所 代表理事)



いいうんちが出るということは、食べること、眠ること、動くことがバランスよく行われ、からだの調子が良いことをあらわしています。つまり、自分の健康状態を知らせてくれるメッセージがうんちです。いいうんちのときは、直腸もからっぽになるので、すっきりした状態になり、集中力も高まります。子どもが、いいうんちをしたときは、とびきりの笑顔で褒めてあげてください。いいうんちを感じる感覚をしっかりと身につけていただきたいと思います。

うんち教室では、子どもたちが元気よくうんちをすることができる「トイレ環境づくりと排泄習慣づくり」を目指しています。私がうんち王子に扮して、うんちの大切さを話すと、子どもたちは目を輝かせ興味津津な表情で聞いてくれます。また、「キラキラうんち」をするために野菜を食べてみるよ。」と帰り際にこっそり話しかけてくれた子どももいます。(*いいうんちのことをキラキラうんちと呼んでいます)

私たち大人が真面目にトイレ・排泄の大切さを語ることで、子どもの意識や行動は変わるものと信じています。子どもたちには「うんち日記」をプレゼントしていますが、保護者の方々にもトイレ・排泄の大切さに関する理解を深めて頂くため、今年度は「うんち教室テキスト」を作成しました。ぜひ、ご家族でうんちと健康について話し合ってください。

うんち教室のねらい



3つのポイント

- ・朝、コップ1杯の水を飲むこと
- ・朝ごはんを好き嫌いをなく、よく噛んでモリモリ食べること
- ・外で元気よくあそぶこと

学校でトイレに行けない、うんちが出来ないという現象は、学年が上がるにつれて多くみられるようになります。排泄をしたいときにできないということは、精神や、身体面に悪影響を及ぼします。小学校低学年のうちに「トイレ・排泄は大切なもの」という意識づけや、健康的な排泄習慣を身につけることが必要です。

うんち教室では、自分のからだ・健康とうんちのつながりを学び、トイレ・排泄は大切である、トイレに行くことは恥ずかしいことではないという心を育み、健全な学校生活を送ることのできる子どもの育成を目指しています。うんち教室は、首都圏の小学校低学年を対象に2007年からスタートし、これまでの参加児童数は4,883人になりました。

また、nepia千のトイレプロジェクトの一環として、東ティモールの小学校でもうんち教室を実施しています。

『うんち教室』でトイレと排泄の大切さを学ぶ

①～⑥までを学校の授業時間の中で実施し、⑦のうんち日記は、うんち教室実施後に各家庭で1週間記録頂くようお願いしています。

<p>①池上園でのトイレの現状</p> <p>池上園ではトイレがない不衛生な環境が原因で食を落とす子どもが多い。東ティモールのトイレ事情を通してトイレの大切さを学ぶ</p>	<p>②うんちの種類</p> <p>うんちを分かりやすく4つに分類 (キラキラうんち、カチカチうんち、ヒョロヒョロうんち、ドロドロうんち) し、それぞれの特徴を学ぶ</p>	<p>③うんちが出来る仕組み</p> <p>食べ物が、口のなかで小さくかみ砕かれて胃で消化し、小腸で栄養吸収、大腸で水分吸収した残りカスがうんちになるなどから成る仕組みを学ぶ</p>
<p>④トイレの使い方</p> <p>和式トイレの使い方、訪問生でのトイレマナー、3歳にトイレを使う人を思いやる気持ち、うんちをすることは恥ずかしくないことなどを学ぶ</p>	<p>⑤トイレトイレットペーパーができるまで</p> <p>紙の原料がヤリサイクルの工場を回ることで、トイレトイレットペーパーが貴重な資源であることを気づかせ、大切に使う気持ちを育む</p>	<p>⑥うんちえんぴつづくり</p> <p>食卓で取れた4色のオリーブ油を混ぜ合わせ、うんち型の絵筆をつくる作業を通して、自分の体の中でうんちがつくれる過程をイメージする</p>

⑦うんち日記
絵文字や顔文字、お便の内部、うんちの色やうんちの形などを記録することで、習慣や行動変容につなげる



Before

簡易改修の取り組み

「小学校に洋式トイレプレゼント！」小林製薬株式会社



© 2015 NPO Japan Toilet Labo

After



© 2015 NPO Japan Toilet Labo

トイレカーペンターズ

Toilet Carpenters



© 2015 NPO Japan Toilet Labo

目的:

児童・教職員・PTA・地域住民等、学校を取り巻くさまざまな人が協力して学校のトイレをきれいにする。単に快適なトイレ空間を作るだけでなく、楽しい場所にするを目的としており、自らの考えや工夫を具体化して改善・活用していくことも学ぶ。さらに、『トイレカーペンターズ』活動を通じて子どもから大人まで幅広いネットワークができ、地域の輪をひろげる。



© 2015 NPO Japan Toilet Labo

Activity2

「災害時」への挑戦

© 2015 NPO Japan Toilet Labo

避難所世話人からのメッセージ

地震が起きたとき、真っ先に行うのは安全の確保と安否確認。避難所に行けば、場所の確保、つぎに食べものが心配になる。

トイレといえは、そのあとぐらいに気になるのだけど、それでは遅い。トイレは命にかかわる。出来るだけ早く対応しなければならない。

釜石市防災力強化トイレプロジェクト協議会
文部科学省 学校施設の防災力強化プロジェクト(平成25年度)

© 2015 NPO Japan Toilet Labo

避難所で聞いた「今、必要なもの」

20日	21日	22日
1) 簡易トイレ	1) 簡易トイレ	1) 下着
2) 毛布	2) 下着	2) 風邪薬など
3) 風邪薬など 医薬品	3) 風邪薬など 医薬品	3) 簡易トイレ
4) 生理用品	4) テント・シートなど	4) テント・シートなど
5) 紙おむつ	5) 紙おむつ	5) 暖房器具
6) トイレトペーパー	6) トイレトペーパー	6) コンロなど

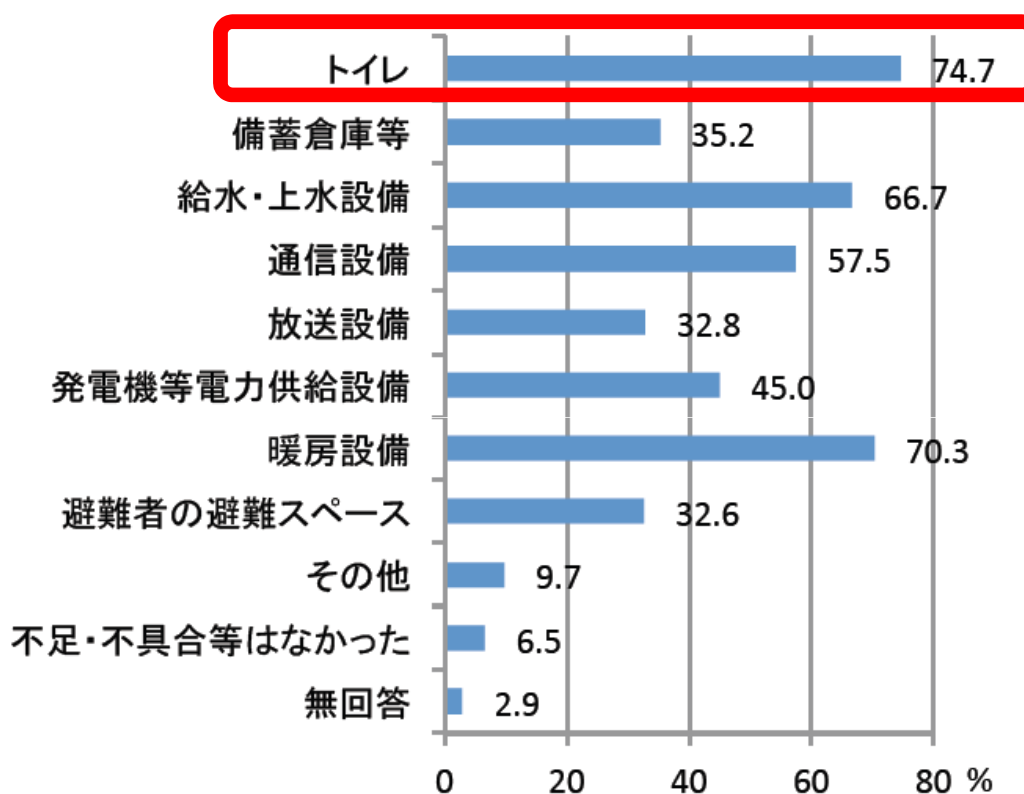
(1995年1月24日付け日本経済新聞)

兵庫県・兵庫県警調べ

15

© 2015 NPO Japan Toilet Labo

○避難所で問題となった施設・設備

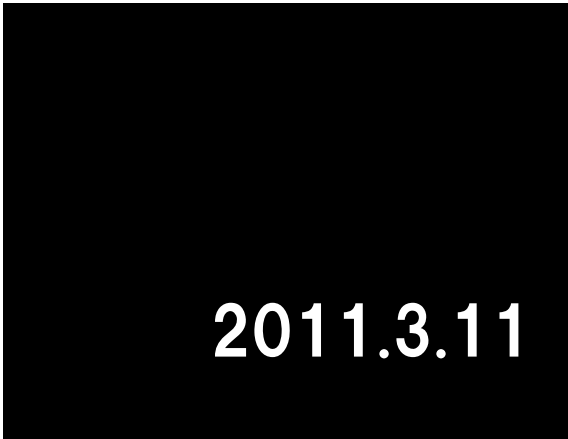


(出典: 災害に強い学校施設の在り方について(文部科学省))

© 2015 NPO Japan Toilet Labo



1995.1.17

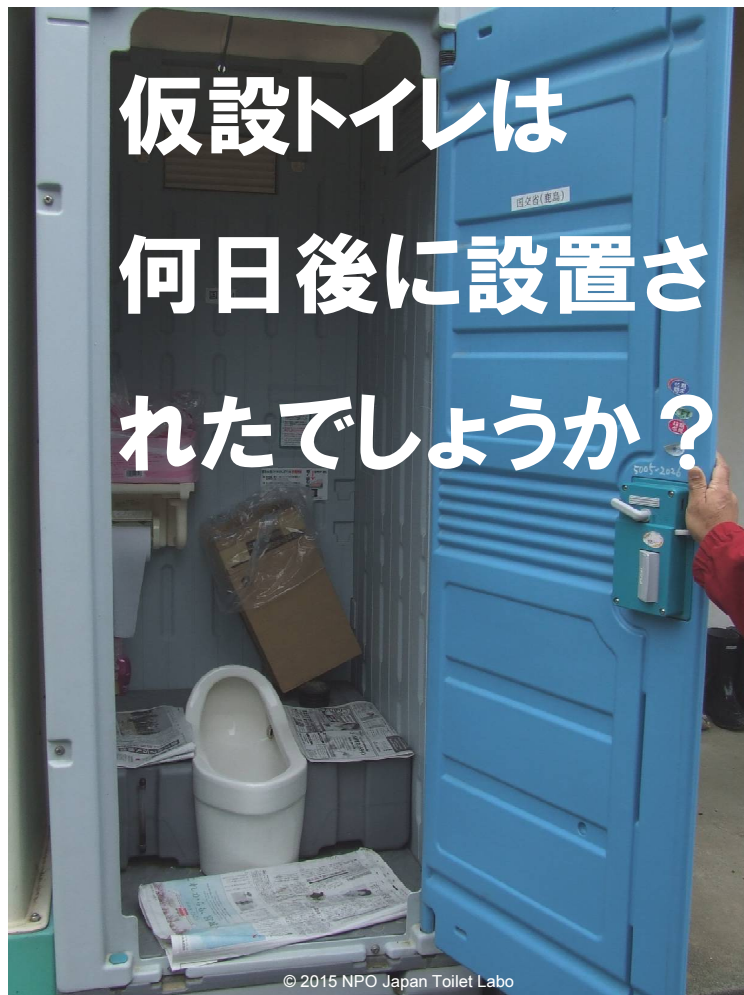


2011.3.11



© 2015 NPO Japan Toilet Labo

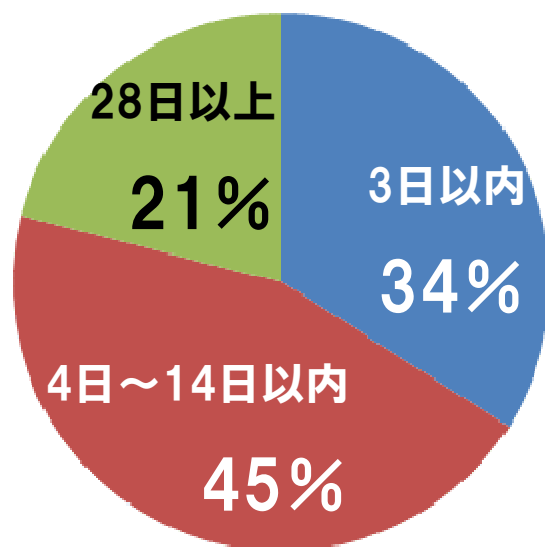
1



© 2015 NPO Japan Toilet Labo

2

仮設トイレは何日で届くでしょうか？

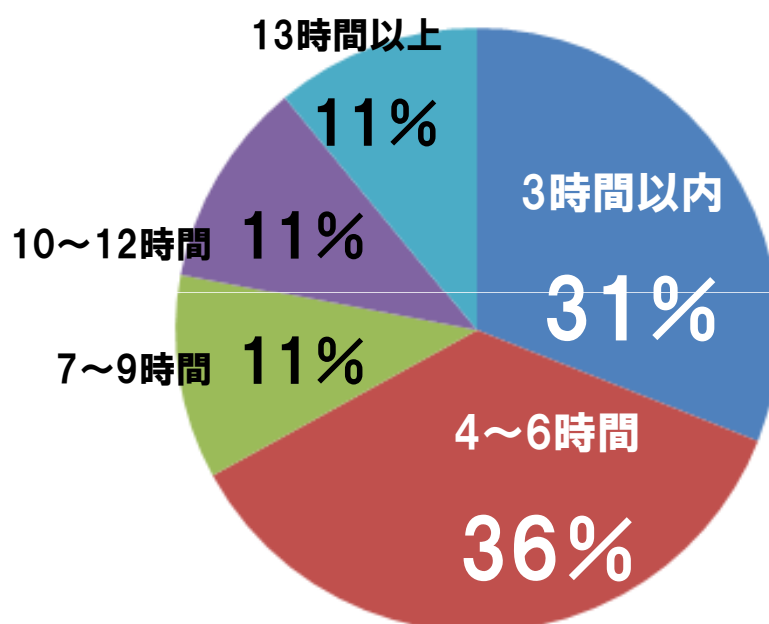


調査: 名古屋大学エコトピア科学研究所 協力: 日本トイレ研究所

19

© 2015 NPO Japan Toilet Labo

発災から何時間でトイレに行きたくなったか



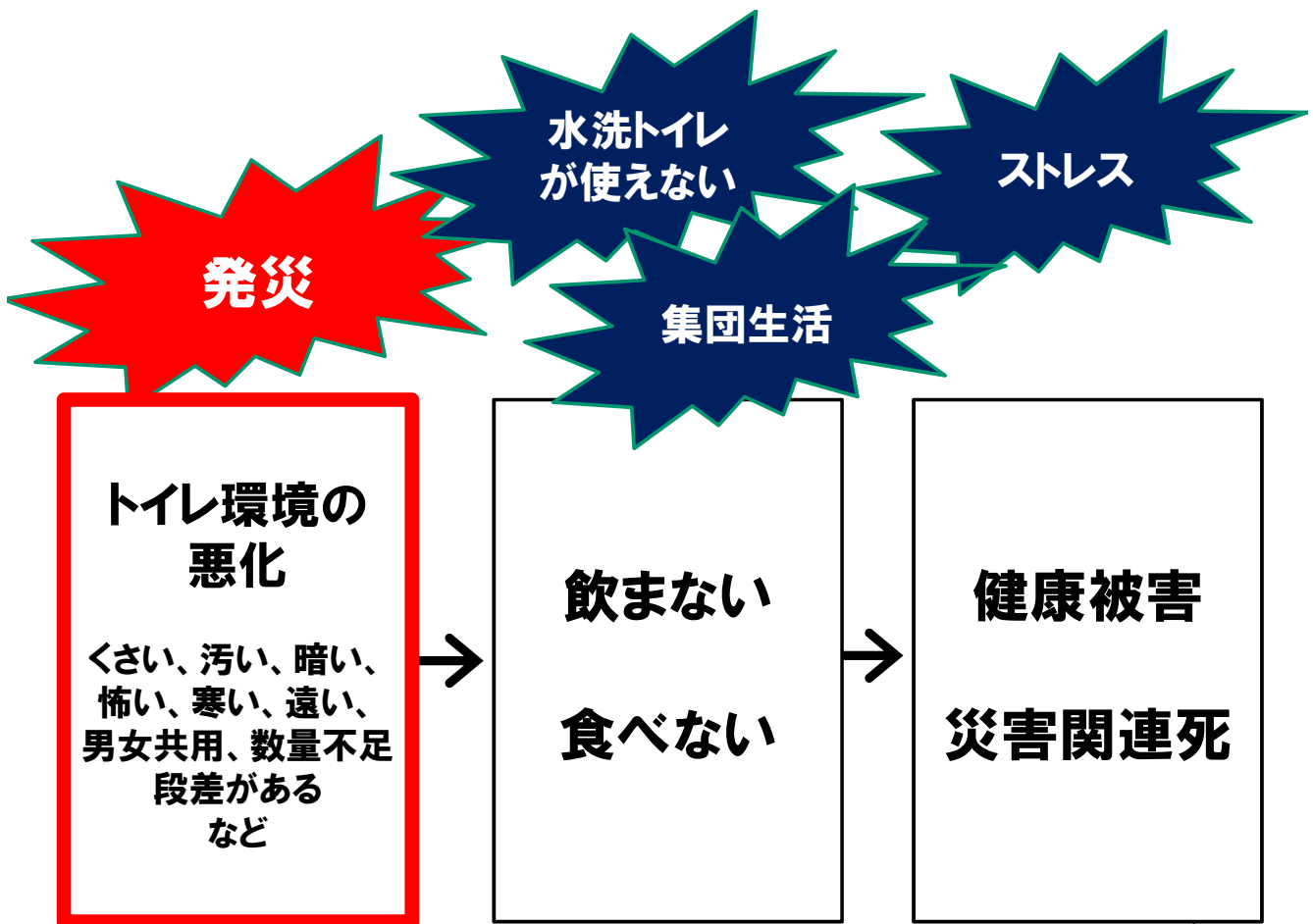
日本トイレ研究所による調査(東日本大震災)

20

© 2015 NPO Japan Toilet Labo



© 2015 NPO Japan Toilet Labo



© 2015 NPO Japan Toilet Labo

災害時トイレ衛生対策の

3つの提案

1. トイレ環境基準の確立

2. 防災トイレ計画の義務化

3. トイレ衛生専門員の配備

© 2015 NPO Japan Toilet Labo

防災トイレ計画の要素(案)

設備や利用状況等に合わせて、適切な災害用トイレを選択し、トイレの運用方法を作成する。

1. **責任と役割分担**の明確化
2. 建物のライフラインの確認(電気、給排水設備、し尿処理等)
3. トイレ利用者(要配慮者等)の想定と配慮
4. 災害用トイレの**選定**および必要数の**算定**
5. 災害用トイレの**備蓄、調達、保管、回収、廃棄**の流れ
6. 使用と維持管理
(時系列に応じたトイレ対策／既設トイレの使用可否判断と情報伝達
災害時のトイレ**使用方法、清掃方法、臭気対策／手洗いと衛生方法**)
7. 災害時のトイレ**訓練**の実施



災害時トイレ衛生管理講習会(5月)

25

© 2015 NPO Japan Toilet Labo

Labo.
日本トイレ研究所

災害用トイレガイド

災害用トイレ・衛生製品の選び方

ツイート

いいね!

476

+1

YouTube

検索

災害用トイレガイドとは

災害時のトイレ事情

災害用トイレの選び方

災害用トイレの特徴

掲載企業・関連団体一覧

<http://www.toilet.or.jp/toilet-guide/>

仮設トイレは、すぐに来ない。



最新情報

RSS

災害用トイレの選び方

2014/08/29

【告知】 兵庫県の合同防災訓練にて、災害用トイレ訓練を行います
8月31日(日) 10:00~13:00実施会場:メイン会場 瀬戸屋フ
リーゾーン(兵庫県芦屋市海洋町) 参加対象...

2014/08/12

【中間報告】 災害時トイレ対策を進める上での必要な情報 ベスト10
日本トイレ研究所では、災害時トイレ対策を進める上での必要な情
報についてアンケートを行いました。【調査方法】 郵送...

2014/07/22

【告知】 災害時トイレ対策を進める上での必要な情報 ベスト10



時間経過によるトイレニーズの変化に応じた災害用トイレの選び方等について学べます。

詳細を見る >>



災害用トイレの特徴

Activity3

「マナー」への挑戦

© 2015 NPO Japan Toilet Labo

トイレットレター

トイレで手紙を読みました

何も書いていない

トイレットペーパーという手紙

たいせつにしてね

無駄にしないでね

忘れていた

やさしいきもちを思い出してね

きみにも読めますように

—— 紙と水を大切に ——

来館者数 3,314人 (2日間)



表参道トイレ美術館



日比野克彦 アーティスト

1958年岐阜市生まれ。東京芸術大学大学院修了。
大学在学中にダンボール作品で注目を浴び、国内外で個展・グループ展を多数開催する他、パブリックアート・舞台美術 など、多岐にわたる分野で活動中。近年は各地で一般参加者とその地域の特性を生かしたワークショップを多く行っている。

ひびのこづえ コスチューム・アーティスト

1958年静岡県生まれ。東京芸術大学美術学部デザイン科視覚伝達デザイン卒業。雑誌、ポスター、テレビコマーシャル、演劇、ダンス、パレ エ、映画など幅広い分野で、ファッション・デザイナーと異なる視点で独自のコスチュームをつくり続ける。1995年、毎日ファッション大賞・新人賞、資生堂奨励賞受賞。

小林紀晴 フォトグラファー

1968年長野県に生まれ。1991年よりフリーランスフォトグラファーとして独立。1997年に「ASIAN JAPANESE」でデビュー。1997年「DAYS ASIA」で日本写真協会新人賞受賞。現在、雑誌、広告、TVCF、小説執筆などポーダレスに活動中。写真集に、「homeland」、「Days New york」、「SUWA」、「はなはねに」など。

大橋陽山 書道家

1962年生まれ。東京都在住。5歳より書の世界に入り、書道家である父より薫陶を受ける。“書”の伝統と古典を重んじながらも、現代との融合にベクトルを合わせ独自の活動を展開している。然美会 会長 墨心会 主宰 文部大臣賞、グッドデザイン賞など受賞多数

新見文 イラストレーター

1980年生まれ。東京都在住。
NYLON100°C、大人計画の映像助手として参加した後、2005年独立。NHK「いないいないばあ」タイトルバック、銀座チャンネルファサードアニメーション、木村カエラPVなどでのイラストレーションなど、映像から平面まで幅広く活躍中。

古谷萌 グラフィックアーティスト

1984年生まれ
多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業
第29回グラフィックアート『ひとつぼ展』グランプリ

並河進 コピーライター

1973年生まれ。DREAMS COME TRUEのキャッチフレーズなどを手がける。2008年、「新日本様式100言展」開催。2009年、日本トイレ研究所とともに全国1000箇所のトイレに、「トイレの詩」を掲出する。2007年度～2008年度中央大学商学部総合講座客員講師。著書に、「下駄箱のラブレター」(ポプラ社)など

田中偉一郎 アーティスト

1974 愛知県生まれ。東京芸術大学大学院修士課程デザイン専攻修了2004年の個展「くらし いきいきいきいきいきいきいきいきいきいき」美術手帖の連載「やっつけメイキング」等、誌上でも活動している。1997 アーバナート#8優秀賞、2008「六本木クロッシング 2007」オーディエンス賞

© 2015 NPO Japan Toilet Labo

観光地での取り組み例

奈良県:「安心トイレプロジェクト」

群馬県:「ぐんまビジタートイレ認証制度」

富山県:「環日本海トイレフォーラム」の活動と「トイレガイドマップ」の作成

栃木県:「ピカピカとちぎ大作戦」

東京都:「とうきょうトイレ整備」

新潟県:「まちなか みちなか どこでもトイレ事業」

熊本県:「商店街がUD事業でトイレの提供」

会津若松市:「アネッサクラブ」の活動と“トイレをどうぞ”

京都市:「公衆トイレMAP」と「東山観光といれマップ」

© 2015 NPO Japan Toilet Labo

Activity Next「健康都市」への挑戦

世界をもてなす

トイレプロジェクト2020